

埼玉県放射線管理士・機器管理士部会 設立の経緯と活動概要

埼玉県放射線管理士・機器管理士部会

副部会長 諸澄 邦彦

埼玉県放射線管理士・機器管理士部会設立までの経

- 1947年 日本放射線技師会 創立
- 1951年 埼玉県エックス線技師会 創立
- 1979年 卒後教育講習会
- 1996年 放射線関連機器管理責任者 認定開始
- 1999年 放射線管理士 認定開始
- 2000年 埼玉県放射線管理士部会設立 (15名)
- 2002年 4県放射線管理士部会研修会(東京 水道橋会館)
- 2006年 埼玉県放射線管理士・機器管理士部会設立

埼玉県では機器管理士部会発足の動きはなく、管理士部会が有志的組織として、自然発生的に活動を開始した。

2000年 埼玉県放射線管理士部会活動開

2002年11月9日～11月10日 宿泊研修会開催（13名の参加）

2004年5月1日 全水道会館（JR水道橋駅東口）

東京・神奈川・千葉・埼玉

頓挫

4県放射線管理士部会共催による放射線管理士研修
「災害時における放射線管理士の役割」の開催

埼玉県放射線技師会主導による部会設立の動

2006年9月～10月 設立委員会(10名)

磯田 部会長(埼玉県放射線技師会副会長)

堀江副部会長(放射線管理士活動 担当)

諸澄副部会長(放射線機器管理士活動 担当)

1. 会則の決定
2. 埼玉県放射線管理士・機器管理士部会発足の企画
3. 埼玉県放射線技師会ホームページ上にコーナーを設け
4. 第22回埼玉放射線学術大会でのシンポジウム

埼玉県放射線管理士・放射線機器管理士部会発足

(平成18年2月25日 さいたま市産業文化センター)



岡田放射線管理士部会長講



中村放射線機器管理士部会長講

放射線管理士関係の活



「医療被ばく相談対応講習会」を開催し

第1回 「医療被ばく相談に答えるための基礎知識」

第2回 「医療被ばく相談と回答の実際」

第3回 「医療被ばく相談の回答例作成の実際」

部会員数70名(H17.6.9)

埼玉県会員 1,217名(8月末)

医療被ばく相談対応講習会の開

(3会場・各3回)

講師：工藤安幸会員



放射線機器管理士関係の活



「各モダリティにおける日常点検の実態調査(案)」

一般撮影(ポータブル装置を含む)

マンモグラフィ装置

透視系(X線テレビ装置 ・ 血管撮影装置)

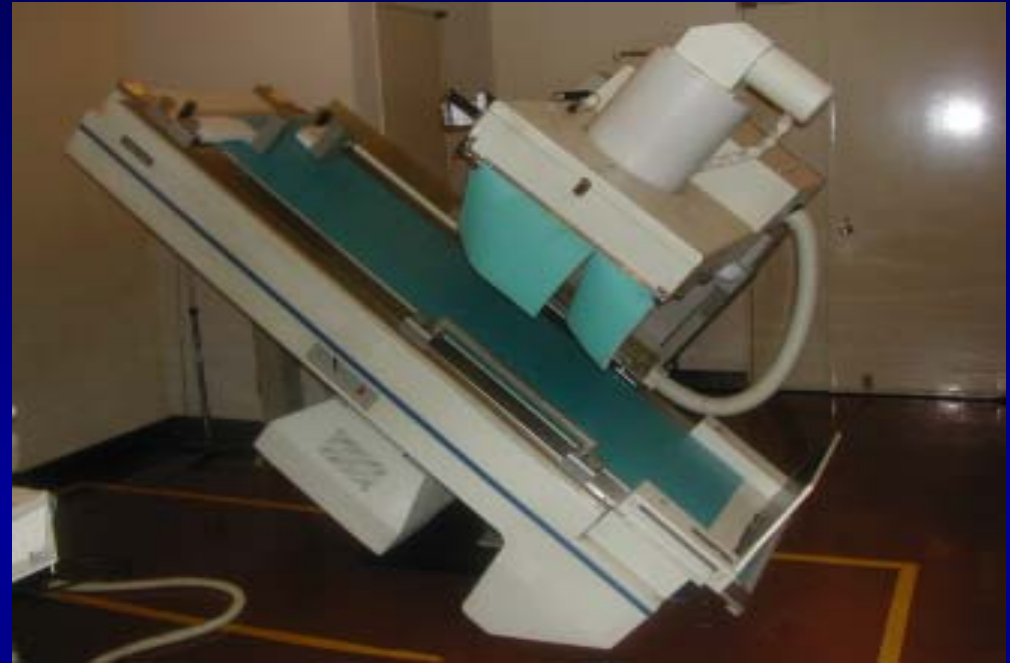
CT ・ MRI

核医学

放射線治療装置

部会員数76名(H17.6.9)

透視用エックス線装置の日常点検



動作確認

透視電流とフォトタイマーの確認

(Cu 2mmを使用)

エックス線装置に係わる医療法施行規則の改正

(平成13年4月)

従来(第30条第2項)

透視中X線管に10mA以上の
電流を流した時、X線を遮断する
自動装置を設けること。

現行法令(第30条第2項)

患者入射面で、

通常透視 50mGy/min

高線量率透視 125mGy/min

血管撮影装置の日常点検

透視電流とフォトマーの確認

85kV

80kV 640mA

Cu 2mm

Mag2 (9inch)



血管撮影室のCT装置の日常点検



テストパターンの表示



ファントムを用いてCT値と標準偏差のチェックを行う

血管撮影装置の日常点検（一例）

年月日	点検者	エー ジ ン グ	表示 灯, コント ロール パネル	各 動 作	照射	異 臭, 異 音	I.I.系 (輝度、 ノイズ、 ハレー ション)	フォ ト タ イ マ 動 作 確 認 (mA	透 視 電 流	CT 値	CT 値 標 準 偏 差	故障、エラー、連絡事項等の記 録、連絡事項 ビニールカバー 汚れたら、清掃または交換して ください
血管撮影装置 日常点検表												
1 : 正常		2 : 要修理		3 : 経過観察			確認欄					
SPOT、MAG2で							機器管理者 諸澄邦彦					
* フォトタイマ動作確認は銅板2mmで行う。							80kV640mA Mag2(9inch) 2mmCu					
* 始業、終業時は清掃を行うこと。							透視電圧85kV					
年月日	点検者	エー ジ ン グ	表示 灯, コント ロール パネル	各 動 作	照射	異 臭, 異 音	I.I.系 (輝度、 ノイズ、 ハレー ション)	フォ ト タ イ マ 動 作 確 認 (mA s値)	透 視 電 流	CT 値	CT 値 標 準 偏 差	故障、エラー、連絡事項等の記 録、連絡事項 ビ ニールカバー汚れたら、清掃ま たは交換してください
2005.1.1	土											
2005.1.2	日											
2005.1.3	月	####	1	1	1	1	1	2.7	0.5	-1.6	1.93	
2005.1.13	木	####	1	1	1	1	1	2.8	0.5	-1.5	1.92	プログラムからのI.I動作不能
2005.1.14	金											
2005.1.17	月	####	1	1	1	1	1	2.8	0.6	-1.4	1.93	
2005.1.24	月	####	1	1	1	1	1	2.7	0.6	-1.3	1.93	
2005.1.31	月	####	1	1	1	1	1	2.8	0.6	-1.4	1.93	
2005.2.7	月	####	1	1	1	1	1	2.7	0.6	-1.6	1.93	
2005.2.14	月	####	1	1	1	1	1	2.8	0.6	-1.5	1.94	

テーマ 「病院機能評価に対応する放射線機器管理を考える」

医療安全の第三者評価の観点から、(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審する医療施設が増えている。(平成18年1月23日 1916病院)

平成17年7月より運用されているVer.5の評価項目では、放射線機器に関する保守点検マニュアルの作成や、装置の保守契約状況についても審査項目に挙げられている。

機器管理士部会の当面の活動方針は、透視装置・血管撮影装置における日常点検を見直し、評価機構の「病院機能評価」や日本放射線技師会の「医療被ばく低減施設認定」の審査項目との対比を含めたアンケート調査を開始する。

(財)日本医療機能評価機構による機能評価

平成14年のVer4.0 では、

施設・設備・機器が適切に保守・点検されている

Ver5.0 の自己評価調査票(一般病院版)では、

第4領域 診断の質の確保

4.6.1.2 画像診断部門に必要な施設・設備・機器が整備され、

安全に配慮されている。(a・b・c・NA)

機能に見合った単純撮影・X線TV・CT・MRI・血管撮影装置・
超音波診断装置・その他が整備されている。

保守点検マニュアルが作成されている。

装置の保守契約が結ばれ、記録が整理されている。

放射線防御に関する施設・設備・備品が整備されている。

薬剤が適切に保管・管理されている。

診断用放射性同位元素が適切に管理されている



放射線部門の機器管理

誰がやるのか？

(社)日本放射線技師会が医療被ばく低減を実践している施設に対し、認定を与える。

医療被ばく低減施設認定事業



- 国民に、「医療被ばく低減」という病院選択枝の情報を提供する
- 医療施設では、医療被ばく低減のきっかけとなる
- 病院機能評価における、放射線部門の補完をめざす

必須評価項目

- 2.1.3 検査・治療ごとに医療被ばくガイドラインとの比較検討が行われている
- 2.2.1 患者の被ばく線量に関するデータを評価し把握している
- 2.3.1 放射線管理士が在籍し、主導的な役割を担っている
 - 2.3.1.1 放射線管理士が在籍している
- 2.6.6 **放射線機器管理士**が在籍し適切な管理が行われている
 - 2.6.6.1 **放射線機器管理士**が在籍している

医療被ばく低減施設認定病院

- ・ 労働者健康福祉機構 横浜労災病院
- ・ 特定医療法人 千代田病院
- ・ 国立病院機構 鹿児島医療センター
- ・ 東京慈恵会医科大学附属病院
- ・ 東京慈恵会医科大学附属第三病院
- ・ 特定特別医療法人 ベルランド総合病院



認定証



認定プレート

まとめ

機器管理士部会の当面の活動方針は、各モダリティにおける日常点検を見直し、評価機構の「病院機能評価」や日本放射線技師会の「医療被ばく低減施設認定」の審査項目との対比を含めたアンケート調査を開始する。



北関東地域放射線技師学術大会
(平成19年11月10日-11日)での発表

雑感

日本放射線技師会が認定した放射線機器管理士ですが、放射線機器管理士部会の全国的な事業が本部会総会に限られ、活動が地方技師会の放射線機器管理士部会に任された場合、その方向性の調和は保たれるでしょうか？